

# ゆりだより



## <秋の遠足>

異年齢のグループで友達とふれあい遊びをしたり、木の实を探したりして秋の遠足を楽しみました。困っているグループの友達に「〇〇くんこっちだよ。」と優しく手を引いたり、お弁当の始末の手伝いをしたりして、積極的に年下の子のお世話をする姿が見られました。木の実探しでは、大きさや形が違う面白さに気付いたり拾った木の实を使ってどんなものを作ろうか考えたりしながら秋の自然を感じていました。



## <異年齢交流>

たんぽぽ組の友達が来ることを知ると、「一緒に遊べるように何か作ろう!」「どんなことをして遊ぼうか迷っちゃうなあ。」などと期待を膨らませていました。交流会当日は、一緒に絵本を読んだり自分たちが作った物で遊んだりしました。「どんなことして遊びたい?」と優しく声をかけたり思いに寄り添ったりする姿が見られました。年下の子とかかわり、優しく接することを学んだようです。



## <大道具・小道具作り>

各クラス、劇に必要な物を友達と話し合いながら、大道具・小道具作りをしました。絵本を読んで「船が必要だね。」「草があったらいいんじゃない?」などと意見を出し合う姿が見られました。また、実際に劇の練習をする中で、自分たちが動かす時に重かったり大きかったりしたようで困る姿もありました。作った物を実際に使用して、気づいたことを伝え合ったり改善したりしながら発表会に向けて練習に励んでいます。



## <積み木で遊ぼう>

ヒノキでできた積み木を初めて見ると、「何か新しい物があるよ!」「どうやって使うんだろう?」などと不思議そうにしていた子どもたち。遊び始めると、「線路みたいにするのはどう?」「タワーも作れそうだね。」などとアイデアを出しながら友達と協力して遊ぶ姿が見られました。何回か繰り返して遊ぶうちに、それぞれのグループが迷路、星、船など色々な作品を作るようになりました。また、決まった時間の中でどのグループが積み木を高く積み上げられるかタワー競争も行いました。積み木を3枚使って三角形にするグループと、4枚使って四角形にするグループと様々でした。途中で崩れるグループもありましたが、グループの中で役割を決めるなど工夫しながら取り組んでいました。



## <10月誕生会>

「なんて言っているでしょうクイズ」をしました。誕生児が、「ぶ・い・う」などの違う言葉を同時に言います。みんなは誕生児がどんな言葉言ったのか耳を澄まして聞いていました。言葉が似ているため『う』って言ったのは〇〇くんかな?』『〇〇ちゃんじゃないかな。』などと一生懸命考えながら楽しむ姿が見られました。